



佐藤 勇市長 (写真中央)

この懇談会は、広域行政合併により、一つの行政区域に併存することとなった複数の商工会が、地域における役割

去る十月十三日(金) 栗原市エポカにおいて、栗原市長と市内四商工会長との懇談会が、佐藤勇市長をはじめ、市の産業経済部長、次長、商工観光課長、担当職員及び宮城県産業経済部団体指導検査課、栗原地方振興事務所地方振興部長等、多数出席の下、開催された。

栗原市長と市内四商工会長が懇談会を開催

―綿密な連携を図り、多様化・広域化する

―ニーズに対応する―

分担等について、調整を行ない、組織が一体となった事業連携等を展開し、従来以上に多様化してきている会員ニーズに対応するとともに、新たな地域の創造は、官民一体となって築き上げるものとの理念の下に開催されたものであ

懇談会では、県連合会と市内の各商工会より事業活動状況や取組事例等が報告され、市側より市の商工業施策・まちづくり方針等について説明がなされた。

その後の意見交換では、行政合併による商工振興、観光地域振興策について忌憚の無い意見交換がなされた。

また、大崎市、気仙沼・本吉地域、石巻市、登米市においても、県地方振興事務所、商工会議所同席での、広域行政に伴う商工業振興と地域連

製造業経営革新セミナー(仙台・大崎)を開催

―オンラインピックでメダル独占―

製造業を経営する中小企業者を対象に、経営革新へ取り組む意欲の向上を目的とした経営革新セミナーが、九月二十八日は仙台サンプラザ、翌二十九日は大崎市古川の芙蓉閣を会場として開催されました。

講師に、有限会社辻谷工業(埼玉県富士見市)の辻谷政久社長をお招きして、「オリ

懇談会では、県連合会と市内の各商工会より事業活動状況や取組事例等が報告され、市側より市の商工業施策・まちづくり方針等について説明がなされた。



懇談会の会場



セミナーの様子

講演の中で辻谷氏は、「日本が世界に誇る技術力が大企業における海外への技術指導の名のもとに、いともたやすく流出しており、国内中小製造業の空洞化はまさにそういうところから発生している。何としてでも日本の技術力を固持し、後世に伝えることが不可欠である。また新しい取り組みを行うためには、時代のキーワードを敏感に捉えた上で、自分の技術を活かしたモノ作り、とりわけ他人がやっていないことに取り組むことが大切である。」と受講者

広域行政合併に係る懇談会実施予定エリア

実施エリア	月 日
石 巻 市	11月 8日
大 崎 市	11月14日
登 米 市	未 定
気仙沼・本吉地域	未 定